

労災ケア通信

第86号

2024年2月15日

発行：一般財団法人
労災サポートセンター

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル10F

TEL 03-6834-2510(代表)

FAX 03-6834-2530

ホームページアドレス

<https://www.rousaics.or.jp>

楽しく生き生きと暮らせる一年に

令和六年（辰年）新春・正月の抱負

入居者の皆様、遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。

旧年中は、私も労災サポートセンターに対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症が、昨年5月8日から感染症法上の2類から季節性インフルエンザ等と同じ5類感染症に位置付けられました。そして、このことにより社会での行動制限が緩和され、私たちの日常にも明るい変化が生まれたいところです。

しかしながら、当施設にはご高齢の入居者様、基礎疾患を抱えている入居者様



が数多く入所され、集団生活をされておられます。

このため、これまで感染された入居者様に重症化した例はございませんが、場合によっては生命の危機も心配されることから、入居されている方々の命と健康を守り抜くため、強い危機感を持って感染防止対策を講じてきました。

新年を迎えるにあたり、これまでの外出制限や面会制限等の感染防止対策につきまして、入居者様、ご家族様方からのご支援・ご協力に心より感謝申し上げますとともに、引き続き感染防止対策を講じて参りますことに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年も引き続き、利用者様一人ひとりが楽しく生き生きと、安全で安心して暮らし続けられるよう、職員一同常に向上心と緊張感をもって日々の業務

に邁進して参ります。

今後とも皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

労災サポートセンター

ケアプラザだより

ケアプラザ岩見沢

「ドライブツアー」

介護課

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々に行動制限を緩和できるようになったこともあり、令和5年度の行事委員会では施設バスを利用して外出する行事「ドライブツアー」を企画し、3回実施しました。



7月：岩見沢市「いわみざわ公園バラ園」

第一弾の7月は、岩見沢市内にある「いわみざわ公園バラ園」に行きました。この日はとても天気の良い



9月・11月：砂川市「砂川ハイウェイオアシス館」

こともあり、多くの方が希望されたため、2便に分かれ出発しました。色とりどりのバラがたくさん咲いており、カメラで写真を撮ったり、バラの香りのリースソフトクリームを食べたりと、初夏の一日を満喫しました。

9月と11月は、砂川市にある「砂川ハイウェイオアシス館」へ行きました。参加者の皆様は、土産売場や野菜売場、レストランなどが入っているそれぞれのお気に入りの場所で、ゆっくりとした時間を過ごされていました。

両日とも天気に恵まれ、参加された入居者の方からは「久しぶりに出かけられてうれしい！」というお声や皆様の喜ぶ顔が見られ、実施することが出来て良かったと思えました。

「年忘れ会」

総務課

12月6日（水）、令和5年の締めくくり行事として「年忘れ会」を開催しました。



「コロナ禍前は
ボランティアの
方々をお招きし
ての歌と踊りが
メインでしたが、
感染防止の観点
からここ数年は
カラオケ機を活
用しての「ビン
ゴ大会」としてい
ます。」

ステージに白布を張って巨大スクリーンを作り、ここに抽選番号を大きく表示するとともに司会者が番号を読み上げます。そうすると、会場からどよめきが起るとともに、参加者は一斉に手元のビンゴカードの番号を探されていました。

開始してからしばらくは「リーチ」の声が出ませんが、徐々に「リーチー」「ビンゴー」の声が出てくるようになると、中には大きな声で数字をリクエストする参加者



もおられなど、今ではとても盛り上がりを見せる当施設の冬の名物企画になっていきます。

景品を受け取る場所では、

サンタの衣装をまとった施設長と記念撮影する時間もあり、短い時間ではありましたが、入居者の皆さま方と楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

ケアプラザ富谷

「年忘れ会」

ミニライブを開催して

12月6日(水)、恒例の「年忘れ会」で職員によるミニライブを開催しました。

ライブはエアロフォンという楽器が奏でる静かなクリスマスソングに始まり、スペシャル



急遽結成された職員によるスペシャルバンドと「渚シスターズ」

バンドのギター演奏に合わせ、「渚シスターズ」が「思い出の渚」、「心の旅」の3曲を披露しました。

ライブは大きく盛り上がり、最後の「心の旅」は参加者皆での合唱となり、アンコールもありました。

新型コロナの感染防止対策も徐々に緩和され、大勢の入居者様が一堂に会する催しを4年ぶりに復活することができましたし、コロナ禍の下で入居された方にとっては、初めての体験となりました。



ライブ終了後の記念撮影

参加された方からは、「楽しかった」「また開催してほしい」などの声がありました。

また、普段あまり居室から出てくれない方に対し、職員がお声をかけさせていただいたところ、「実は音楽が好き、参加できて良かったです。」と、笑顔で話されていました。

このような企画を通して、入居者様の活動性が上がるきっかけになればと思います。

「新年を迎えて」

あけましておめでとうございます。ケアプラザ富谷では、職員と入居者の皆様で制作したお正月の雰囲気がある作品で施設内外を彩り、新年を迎えています。

新年の幸運と繁栄を迎え入れるためかのように、今年の干支である「辰」がモチーフのクラフトアートや玄関前の門松、玄関ホールには生け花や正月飾りなどを飾り、観る人たちの目を楽ませています。

令和6年が、皆さまにとって素晴らしい一年となりますように♡



玄関ホールの生け花と正月飾り



玄関ホールの生け花



恒例の玄関前の門松



今年の干支がモチーフのクラフトアート

総務課

ケアプラザ四街道

「お芋カフェ」

行事実行委員会

11月29日(水)、秋の味覚会として「お芋カフェ」をコミュニティホールで開催し、入居者の皆様に焼き芋を提供させていただきました。

施設で生活していると焼き芋を食べる機会があまりないので、久々の懐かしい味に皆様が満足そうな笑顔を見せていました。



今回の行事は、初めての試みでしたが好評でしたので、次回は施設で焼き芋作りにチャレンジしたいと思えます。

「年忘れ会」

行事実行委員会

12月20日(水)、年忘れ会恒例のビンゴ大会がコミュニティホールで開催され、多くの入居



豪華景品?のため、真剣な表情でカードを見つめています。

者の方が参加されました。

今回のビンゴ大会では、リーチになってもなかなかビンゴにならない方が多く、数字が読み上げられるたびに大きな喚声があがり、大いに盛り上がりました。

一年の締めくくりである年忘れ会が笑顔あふれる楽しい時間となりました。

ケアプラザ瀬戸

「食堂前うたごえ喫茶」

総務課

4年前の新型コロナ感染防止対策による外出等制限から始まった「食堂前喫茶」。

これまでは、施設長の淹れた美味しいコーヒーを、ジャズ等の軽快なBGMで楽しむ会でしたが、新型コロナウイルスの行動制限も少しずつ緩和されてきたので、11



月29日(水)の「食堂前喫茶」は、市内のアマチュアバンドをお呼びし、生演奏を楽しみながらコーヒーを味わうライブカフェとなりました。

バンド演奏では、誰もが知るスタンダードナンバーでみんなノリノリに。マイクを向けられると、皆様待つてましたとばかりに、楽しそうにリズムを取りながら気持ち良さそうに歌っていらっやいました。

このままコロナ禍前のような生活に戻るのが来る事を期待しています。

令和5年「年忘れ会」

総務課

12月6日(水)の昼食時に「年忘れ会」を行いました。

まずは施設長から入居者の方々にクリスマスプレゼントです。今年は居室の整理に使える携帯粘着クリーナーをお一人ずつにお渡ししました。

その後、年忘れ会にふさわしい豪華な祝い膳をご用意し、併せて唐揚げ、エビフライ、肉団子のオードブルも用意し、職員がカーポートに乗せて食堂内を巡回して、それぞれ好きな



ものを選んで召し上がっていただきます。



おいしい食事の後、ボランティアによるマジックショーです。コロナ禍の下ではボランティア

来に来ていただくこともままならなかったのですが、コロナの感染も落ち着きを見せましたので、ボランティアをお呼びしての開催となりました。久しぶりのマジックショーということもあり、多くの入居者様に喜んでいただけました。

職員にとっても、入居者の方々の笑顔が一番の喜びです。今後も喜んでいただける施設運営に努めてまいります。

ケアプラザ堺

「感謝祭(年忘れ会に代わり)」

介護課

冬晴れが心地よい師走の候、日頃から外出制限などで感染対策にご協力頂いている入居者の方々にお食事を楽しんでいただけたら幸いです。感謝の気持ちを込めて12月13日(水)、年忘れ会に代えて「感謝祭」を開催しました。



メインのお食事は、選べるお楽しみメニューとして和食の「御造り」と、洋食の「ステーキ」をご用意し、お好みで選んで頂きました。

またデザートには、食べる楽しみを通じて季節を感じて頂けるように、サンタクロースなど、間近に控えたクリスマスをイメージした可愛く華やかな和菓子を特別オーダーで提供させていただきました。入居者の方々の中には、和菓子のクオリティーの高さに驚きの声をあげられる方がおられるなど、笑顔溢れる光景がとても印象的でした。令和6年も笑顔で締めくくられますように、無病息災で過ごせますようにと心から願っています。

「防災ホームヘルパー(A)養成研修」

介護課 石井 みゆき

12月18日(月)から22日(金)まで、防災ホームヘルパー研修が当施設で実施されました。大阪府以外の他県からも含め、計9名のヘルパー・介護士の資格を持つ方の参加がありました。講習は、せき髄損傷等の防災特有の



傷病に関する知識や心理面をはじめ、防災保険制度、看護、介護、リハビリ等の項目がありました。講義は本部の職員を始め、労災病院の医師、当施設の職員が行いました。私は看護師の立場として食事や清潔面、皮膚の状態の観察や対応についてお話させて頂きました。多忙な業務の中で準備は大変なこともありましたが、参加された方々の熱心な姿や積極的な反応をみて、今後の活躍のお役にたてただければ幸いと感じました。

また自身の看護、介護の振り返りにもなりましたし、全体として実のある講習となりました。

ケアプラザ呉

「グランドゴルフ体験会」

介護課

これまでは、秋の屋外スポーツとして「ゲートボール」大会を開催してきましたが、入居者様から「グランドゴルフ」の開催を提案されたことを受け、

11月15日(水)「グランドゴルフ体験会」を開催しました。当日は絶好の秋晴れとなったこともあり、10名の入居者様が参加し、2チームに分かれてスタートしました。ゲームは、所定のボールをきめられた打順にしたがってスタートマットから打ち始め、ホールポスト内に静止した状態(これを「トマリ」といいます。)までの打数を数えます。打順通りに二打目以降も打っていき、合計8ホールの合計スコアで競います。

なじみのあるゲートボールに似てはいますが、グランドゴルフは少し勝手が違ったようで、参加者の方々も初めはクラブを持つ手に力が入りすぎるなどし、ボールがホールポストからはみ出してしまつことが多くありました。ですがコツを掴み慣れてくると体の力も抜けてきたようで、どんどん狙ったところにボールが行くようになりました。今回は体験会でしたが、参加された



方々は真剣に、そして楽しくプレーされ、次回は「グランドゴルフ大会」としての開催を心待ちにしていらっしゃる方も多数おられるよう

す。体験会を準備した職員としても、とても嬉しく思います。今後、体を動かして思いっきり楽しめるような行事を開催していきたいと思えます。

「年末お食事会」

総務課

12月13日(水)昼食時、毎年恒例の「年末お食事会」を開催しました。風船やお花紙を使った飾り付けで会場を華やかにし、入居者の皆様をお迎えしました。

メインの食事は、嗜好調査でリクエスが多い人気メニューの握り寿司を提供しました。また、「もう少し食べたい。」という方のために、フライドポテト&オニオンリング、肉まん、ムース、かりんとつまんじゅう、フリーズドライなどのバイキングコーナーもご用意しました。特に肉まんは大人気で、会の途中で完売してしまいました。



食事会でたくさん召し上がっていたいただいたので、夕食はさっぱりと食べられる「鮭茶漬け」を提供しました。こちらもお腹はすいてないけ

どサラっと食べられる。」と、好評でした。

短い時間ではありましたが入居者の方々の気分転換になったようでした。

ケアプラザ新居浜

「買物ツアー再開」

総務課

10月4日、コロナ禍で中断していた買物ツアーを再開しました。入居者の皆様も買物ツアーを待ちわびていた様子で、久しぶりに自由な買物や食事を楽しんでいました。

買物ツアーは、地元のボランティアの方々にもご協力いただき、無事に終わることができました。これからも、感染対策とのバランスを見ながら少しずつコロナ禍前の日常に近づけていけたらと思います。



「新居浜太鼓祭り」

総務課

ケアプラザのある新居浜市では、毎年10月中旬に3日間にわたり、「勇祭り」の異名で知られる新居浜太鼓祭りが行われています。

この祭りは、四国三大祭りとして、また、日本三大喧嘩祭りとしても知られています。

ここ数年は、コロナ禍の影響で施設前の道路を通過するだけでしたが、令和5年は久しぶりに施設内広場に入っていたことが出来ました。

迫力のある太鼓台を目の前にし、入居者の皆様は晴れ晴れとした表情で見物していました。



ケアプラザ宇土

「映えスポット」へバスハイク

行事運営委員会

11月15日(水)、秋晴れの中バスハイクでのお出かけツアーとして、イイクで有名な熊本県庁プロムナード(遊歩道)に行きました。

ここには、肥後五十四万石にちなんだ54本のイチヨウ並木があり、毎年秋には、黄色いじゅうたんを敷き詰めたような美しい黄金色が辺り一面を染め、熊本屈指の「映えスポット」となっています。また、ワンピース熊本復興プロジェクトの一環として、「ルフィ像」が設置されていることでも知られています。

参加された入居者の方々は、ちょうど見頃となった風景を写真に収めたり、居合わせた家族連れのごどもたちと触れ合ったりと、思い思いのひとときを過ごされていました。

今後、入居者の皆様が少ないでも季節の移り変わりを感じていただけるようなお出かけツアーを企画していきます。



「年忘れ会」

行事運営委員会

12月11日(水)、食堂において「2023年忘れ会」を開催しました。

司会進行役の職員による軽快な語り口のもと、最初に、地元のボランティア団体「宇土おじゃめ愛好会」の皆さんに、「おじゃめ(熊本弁で、お手玉のこと)」を使った演舞をご披露いただきました。特に水戸黄門のテーマをBGMにした演舞では、特徴のあるメロディーを入居者の皆様ほぼ全員がご存じだったこともあり、笑顔で観覧されていました。

続いてのカラオケ大会では、8名の入居者の方々が自慢ののどを披露されました。熱唱あり、変装した職員とのデュエットあり、施設長&介護課長の飛び入りありと、会場は大いに盛り上がりました。2024年が皆様にとって、より良い年でありますようにと祈りながら、カラオケ大会の表彰式やお楽しみ抽選会で年忘れ会を締めくくりました。



労災重度被災者作品展の出席作品のご紹介

前号に引き続き、名古屋市で9月26日～10月1日まで開催された「第18回労災重度被災者作品展」に出展された作品を紹介させていただきます。

なお、紙面の都合上すべての作品を掲載することができませんので、ご了承ください。



7匹のネコ



郷愁の駅



エゾナキウサギ



藤に咲く鶴



椿



絵手紙 色紙



菱川師宣の見返り美人図



守礼の門



庭の花



たくさんたくさん ありがとう



こちらから
ご覧いただけます。

★財団HP「労災重度被災者作品展」のページで、「第18回開催結果」をクリックしていただくと、作品展当日の動画や、他の作品等がご覧いただけます。